

システムのしくみ

概要

- 緊急通報システムと連動する住宅用火災警報器（緊通連動住警器）を、**寝室の天井又は壁に設置**します。
- 緊通連動住警器が煙を感知すると**自動的に緊急通報システムが作動**し、消防指令センターに通報します。
- 設置後は**定期的な点検・交換**のため、メンテナンス業者が自宅を訪問します。
- 配線工事は不要です。

申請方法

- 申請書に必要事項を記入し、お住まいの行政区の消防署に提出してください。

対象者

緊急通報システムを利用されている方のうち、次のいずれかに該当する方

- ① **要介護3、4又は5の認定**を受けている方
- ② **身体障害者手帳1級又は2級**の交付を受けている方のうち、**自力歩行が不能**である方
- ③ その他緊通連動住警器を設置する**必要があると認める**方

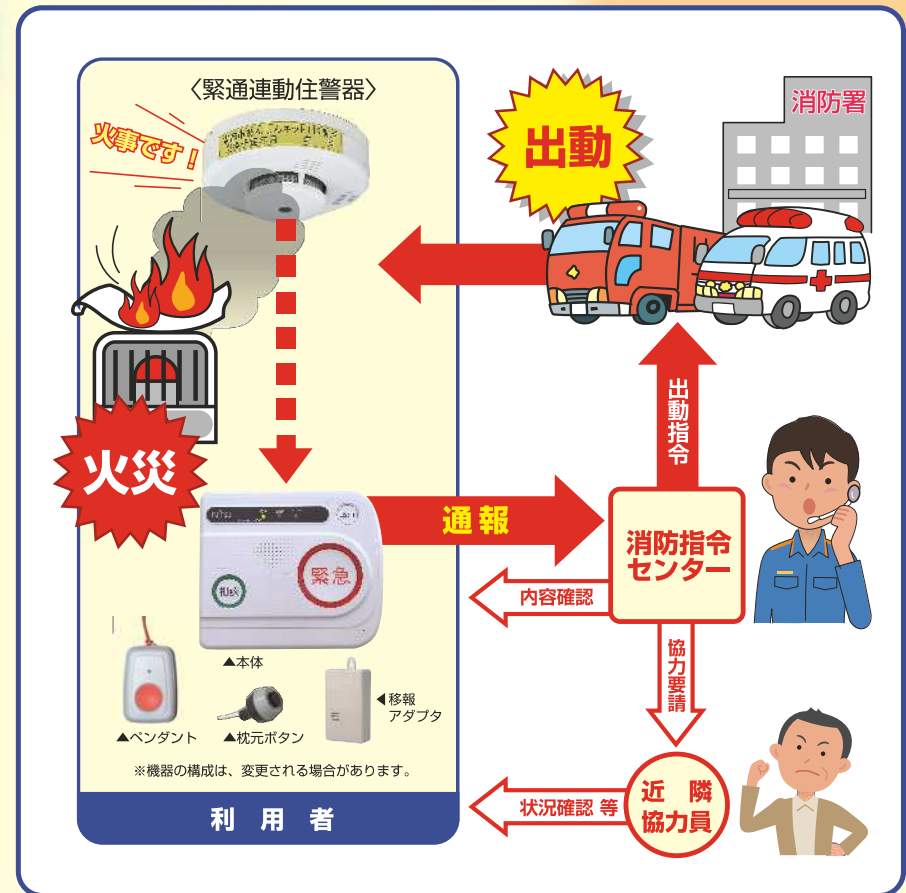
利用料

世帯の生計中心者の前年の合計所得金額によって異なります。

生計中心者の合計所得金額の状況		緊通連動住警器（月額）
A	生活保護法の規定による保護又は中国残留邦人支援法の規定による支援給付を受けている世帯	無料
B	生計中心者の前年合計所得金額が350,000円以下の世帯	
C	生計中心者の前年合計所得金額が350,001円以上400,000円以下の世帯	455円
D	生計中心者の前年合計所得金額が400,001円以上の世帯	

* 上記利用料以外に、電話基本料及び通話料並びに緊急通報システム本体機器利用料（A：無料、B：月額150円、C：月額768円、D：月額1,462円）がかかります。

* 設置工事の費用はいたしません。

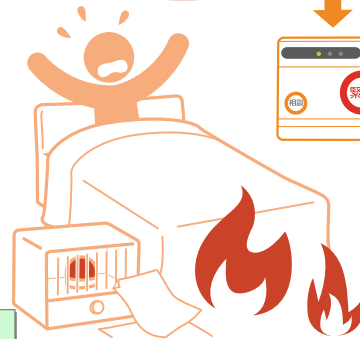


緊通連動住警器のおかげで助かった!!

- コンロの火に触れた鍋つかみから出火。
発生した煙を緊通連動住警器が感知し、自動通報された。消防指令センター員からの連絡で駆け付けた近隣協力員が、水を掛けて消し止めた。
- 深夜に、身体に障害がある70歳女性の寝室で、電気こたつのコードから出火。
発生した煙を緊通連動住警器が感知し、自動通報された。気付かず就寝中の女性は、駆け付けた消防隊によって救出された。

あんしんネット119

緊通連動 住警器



安心

確実

迅速

緊急通報システムと連動する
住宅用火災警報器が
大切な命を守ります

緊通連動住警器に関するお問合せ先は、
お住まいの行政区の消防署(消防分署)又は消防局予防課



TEL 212-6672 まで 京都市消防局ホームページ 京都市消防局 検索

北消防署 491-4148 (代)	東山消防署 541-0191 (代)	右京消防署 871-0119 (代)
上京消防署 431-1371 (代)	山科消防署 592-9755 (代)	西京消防署 392-6071 (代)
左京消防署 723-0119 (代)	下京消防署 361-4411 (代)	伏見消防署 641-5355 (代)
中京消防署 841-6333 (代)	南消防署 681-0711 (代)	醍醐消防分署 571-0474 (代)

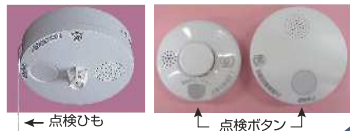
緊通連動住警器が設置される寝室以外にも
住宅用火災警報器の設置が義務付けられています!

設置が必要な場所は **寝室** **階段**※ **台所**

※寝室が2階以上にある場合

設置されていない場合は、すぐに設置しましょう!

- ・自宅に設置している住宅用火災警報器は、**1年に一度は点検**し、異常がある場合は**本体を交換**しましょう。
- ・住宅用火災警報器は**約10年**で電池が切れたり、センサーが劣化してきます。
設置後10年を経過したものは**交換**しましょう。



※緊通連動住警器の点検ボタンを押すと通報されるので、点検ボタンは押さないでください。
メンテナンス業者が定期的に保守点検を行います。

文字をオレンジ色

調製箇所

発行：令和8年6月/京都市消防局予防部予防課
京都市印刷物 第080003号

この印刷物が不要になれば
【進み】として古紙回収等へ!

京都市印刷物 第070006号

削除

発行 京都市消防局予防課
☎ 212-6672



京都市消防局
KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT

